

2022. 3. 17

発行: 桜本保育園

044(288)2545

えんだよい 3がつごう



まちの あちこちに 桃や 桜の花が 咲きだし 春が やってきたことを 教えてくれています。3月12日(土) あたたかい日差しの中 21名の 園児さんが 無事 卒園のつどいを 行うことが できました。保育園で 出会った チマチョゴリや パジチョゴリ、おうちのひとが 用意してくれた 洋服や はかまを 着て いつもよりも 緊張した顔で でも しっかりと じぶんの夢と これから通う 小学校の名前を 伝えていました。

今週は 0~5歳児の 縦割りグループで 散歩に出かけています。園児さんが 小さいこどもたちの おせわをしながら 散歩の準備をする姿に ほっこりします。

新型コロナウイルス感染拡大防止のために 12日から14日まで 0~4歳児は 休園になってしまいました。おやすみの 協力ありがとうございました。たくさんのひとに 広がることなく 15日から 開園でき 濃厚接触者になった人たちも 今日から 登園しています。これからも 換気に気をつけ 少人数での保育を おこないながら 規制することよりも 元気に うごきまわりながら 園生活を おくっていきたいと思います。

来週から あたらしいお部屋に 移っての生活が 始まります。支度の方法とか 変わったりすることも あると思いますが よろしくお願ひいたします。(Y)



3月のよてい

- 12日 卒園のつどい
- 16日 園児健診 (1・5歳児)
- 23日 園児お別れ遠足

4月のよてい

- 1日 入園のつどい

おねがい

つかわなくなった コンビカー・さんりんしゃが ありましたら すてるまえに ほいくえんに ひとこえ かけてください。

「神さまの望み」

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」

(テサロニケの信徒への手紙 - 5章16~18節)

2021年度最後のひと月を迎えました。子どもたちの成長の節目である卒園、進級の季節でもあります。キリスト教の暦では、今、レント(受難節)というシーズンに入っています。イエス・キリストの十字架への道を思いめぐらせる期間です。

今月の聖句は、年度の締めくくりの時、卒園するお母さんはじめ子どもたち一人ひとりがこれからも大切にしたいこと、日々の生活において心に留めてほしいことを礼拝で一緒に考えている箇所でもあります。

礼拝の中で子どもたちに、「神さまがわたしたちに望んでいることは何でしょうか?『喜ぶこと』『祈ること』『感謝すること』であると聖書は言っています。しかし「いつも喜んでいなさい」ってあるけど、わたしたちは楽しいこと、うれしいことばかりでしょうかと言うと、元気よく「うん」と答えた子どももいれば、黙っている子どももいました。

コロナ禍を生きる不安に加えて、連日報道されているウクライナ情勢など、辛いこと、悲しいことがたくさんある今日この頃です。だからこそ、みんなが「いつも喜んでいよう」ためには、どうすれば良いのかが問われているように思います。そして、そのために「祈ること」「感謝すること」は切り離すことができない、大切なことではないでしょうか。

子どもたちと声合わせて「へいわのために」を祈っています。

かみさま

わたしたちは みんな

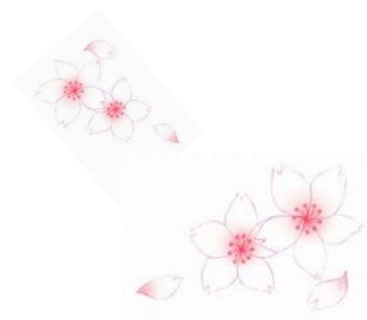
かみさまにあいさされている こどもです。

わたしたちのせかいから せんそうをなくしてください。

せかいじゅうのひとたちが

なかよくくらしたいように。

いえすさまの みなによって。(『こどものいのり』より)



イエスさまは、神さまの望み通りみんなが「いつも喜んで」いるように、十字架の道を歩まれました。

わたしたちも子どもたちがこれから先、喜びと感謝のうちに過ごせるように、「自分だけの平和ではなく、すべてのいのちの平和を求め」祈りをともに捧げたいと願います。

(チャブレン 鄭 富京)



すぱーすPAZの
民族衣装
フォトタイム